

### 1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4190700031		
法人名	有限会社 さわか門前		
事業所名	グループホーム浜		
所在地	佐賀県鹿島市浜町乙2591-1		
自己評価作成日	平成29年1月10日	評価結果市町村受理日	平成29年5月10日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaigokensaku.jp/">http://www.kaigokensaku.jp/</a>
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	公益社団法人 佐賀県社会福祉士会
所在地	佐賀県佐賀市八戸溝一丁目15番3号
訪問調査日	平成29年2月16日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

○入居者一人一人が自分のペースでゆったり、楽しく生活されるように、入居者の気持ちを良く聴いて支援している。○毎月のピクニック(三社参り、佐大美術館、庭木ダム、御船山楽園、大村菖蒲園、武雄ゆめタウン、芸能フェスティバル、のみの郷、こすもすロード武雄東川登町、嬉茶楽館嬉野等)○地域の方との「認知症サポーター養成講座」や「AEDの講習会」を開催。○書作、カラオケ、かるた、リハビリ体操、廊下の往復運動、計算ドリルなどの日中活動。○毎月の写真入りおたより。○カラオケ、民謡、オカリナなどの慰問に来ていただく。○地域の小学生との交流。○毎年落語家さんに来ていただき、地域の方と共に楽しんでいる。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

ホームは酒蔵地区の静かな景観の中に位置している。入居者が一人ひとりが自分のペースでゆったり楽しく生活できるよう、居場所づくりや食事作りに参加しやすい工夫をし、毎月県内外にドライブにでかけている。「認知症サポーター養成講座」や「AED講習会」を地域で開催し、「AED設置」のステッカーは外から見える場所に表示し、地域に貢献している。市役所の「認知症声かけ体験」には職員が認知症高齢者に扮するなど、地域や市との協力体制はしっかりと構築されており、運営推進会議での活発な意見交換や災害避難訓練での、隣保班のほとんどの参加や消防団の協力が見られる。また毎年小学校との交流がなされ、将来の地域力を育てている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

# 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	朝の申し送りの時や毎月のミーティングの中で職員みんなで、理念を共有して、実践につなげていくようにしている。	理念はわかりやすく、事務室とスタッフ室のテーブルの上に表示され、職員に浸透している。新入職員には最初に理念の説明をし、ミーティングで職員間の共有を図っている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	隣保班での月一回の溝掃除に職員が参加している。近隣のかたから野菜をいただいている。入居者は、運営推進会議に数人参加され、避難訓練の時に隣保班の方や、消防団の方と話しておられる。	月1回の隣保班の掃除に参加し、野菜の差し入れがある。「認知症サポーター養成講座」や「AED講習会」を開催し、「AED設置」のステッカーを外部から見えるところに貼っている。運営推進会議では地域の実情に応じた貴重な意見が出されている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	毎年浜地区と古枝地区で公民館を借り、「認知症サポーター養成講座」を開催している。H28.6/26西塩谷公民館総会 78名参加、8/28鮎超公民館 19名参加		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	区長、老人会会長、民生委員、消防団、地域包括支援センターの方々と入居者、職員でホームでの状況を報告し、今後の街づくり、非常災害時、避難訓練、浜地区の方々の状況、介護保険制度、成年後見制度など話し合い、意見を基にサービス向上に努めている。	2ヶ月に1回開催され、ホームの状況報告を基に、問題点や要望等活発な意見が出され、運営に活かしている。議事録はよくまとめられており、家族会の欠席者にも送付している。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	「認知症サポーター養成講座」の開催に向けて話し合ったり、鹿島市役所での「認知症声かけ体験」に職員がボランティアで参加し協力関係を築くよう取り組んでいる。	日常業務での連携はもとより、「認知症サポーター養成講座」開催の話し合いや市の「認知症声かけ体験」に認知症高齢者に職員が扮するなど相互の協力関係を築いている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	虐待の研修会に参加し、職員で話し合いながら、拘束をしないケアに取り組んでいる。ベッドから滑り落ちそうな方は、家族に説明し了解を得て四点柵をしていたが、現在は必要がなくなった。	研修会に参加し、職員間で情報を共有し、拘束をしないケアの実践に取り組んでいる。前回の反省を踏まえ、拘束した場合の検討会の記録も整備している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	入居者への虐待がないように努めている。入浴の際は、体全体傷やあざがないかよく観察し、入居者からそれとなく聞いたりして、虐待を見過ごしていないか注意を払っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修などで学ぶ機会があり、過去には利用されていた方もいた。「認知症サポーター養成講座」でも専門(司法書士)の方に成年後見制度についても聴き、活用できるように支援している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に契約書を見ていただきながら、説明をしているが、不十分な点は、その都度説明したり、話を聴いたりし、家族の不安や疑問点が出るだけ少なくなるように職員と共に行っている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会や面会時、受診の付き添い時などの時間を利用して、意見、要望を聴くようにしている。またおたよりで入居者の様子、ホームの考え方を伝えたりしている。	入居者や家族の意見を、家族会、面会時、受診時等に聞くようにしている。毎月家族に写真入りおたよりを送り、入居者の様子、ホームの考え方を伝えている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員からの意見があったときは、随時聴くように心がけ、代表、管理者、職員全体で話し合う機会を設けている。	普段から意見を出しやすい雰囲気作りがなされており、随時話し合い対応している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員一人一人、いろんな研修に参加し、向上心を持って働いている。それぞれの希望条件に合わせた勤務が行われている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	色々な種類の研修に参加、希望する研修にも出来るだけ参加できるように勤務表に入れてある。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム交流会、鹿島、多良、塩田から6か所集まり、毎月の勉強会や入居者合同の運動会を開催している。毎年、事務局を交替し、取り組みたい内容を話し合いで決めて実行している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人や家族さんと一緒に生い立ち、結婚、子育て、仕事など生活環境を聴き、不安がられない様に支援している。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	不安がられない様に、ゆっくりと話を聴きながら、困っておられることなど支援し、信頼関係を築いていく。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人や家族さんからの要望を聴いて、職員間で話し合いながら支援している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	好きな趣味など聴いて、出来るところから少しずつ職員も手伝いながら支援している。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	本人がいつでも家族や知人に連絡出来るように電話帳などを作り支援する。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	偶然に会った時など、笑顔で近況報告をしたり、コミュニケーションをはかっている。	入居者や家族から、馴染みの場所を聞き、ドライブの時、立ち寄るなど、馴染みの場所との関係継続に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者一人一人、その日によって気持ちの移り変わりがあるのでコントロールしながら仲よくできるよう支援している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	終了したからそれっきりではなく、面会したりし、笑顔で近況報告を傾聴して親近感を持って接している。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人の希望により対応している。	入居者一人ひとりが自分のペースでゆったり過ごせるように、入居者や家族の希望や意向を聞き取っている。入居者の立場にたった支援を心掛けている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	一人ひとりの意思を尊重し、それに近いような環境をつくり会話し、気持ちを和ませるよう支援している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりにあった歩行訓練を支援し、介助が二人必要な方は二人で介助したり、その方の状態を考え対応している。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	職員間でのミーティングでの話し合いや、家族の意見も聴きながら、体調の変化に気を付け、計画を作成していくように努力している。	介護計画は、入居者、家族、医師等の意見を基にミーティングで話し合い、作成している。毎月のモニタリング時に職員で見直しを行っている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護計画の実践やその他の介助記録を作成し、職員間で日々話し合い、再度ミーティングで確認している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	文化祭への作品出品や合同運動会へ参加している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域のカラオケ同好会の方や、民謡会の方、オカリナ尺八の方など慰問に来ていただいたり、落語家さんの落語を楽しく地域の方もともに聴き楽しんでいる。避難訓練の時、隣保班の皆さんも参加してもらっている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	発熱など異常がおおる時は、家族に連絡し、家族が都合がつかない時は、職員で付き添い病院受診をしている。	かかりつけ医への受診は家族の協力により行われるが、必要に応じて、ホームの支援もなされている。訪問看護や協力医は24時間対応可能である。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日頃の様子や特に変わったところがある時は、ケースに記録し、看護師に伝えるようにしている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院された時は、面会に行き、その時の様子などを職員に報告し、職員間で話し合い今後の対応を考えお世話するようにする。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	本人や家族の希望があれば、主治医とも相談しながら職員で話し合い、出来るだけ希望に沿うようにしていきたいので、研修に参加したりしている。	「看取り」と「重度化・終末期ケア対応」の指針があり、入居時に入居者や家族に説明している。必要に応じて、主治医を交えて話し合うこととしている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	浜と門前地区で、年に一回づつAEDの研修をし職員全員参加している。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回昼夜想定の下で、避難訓練を実施している。	年2回昼夜想定の方針の火災避難訓練を実施し、消防団や隣保班のほとんどの協力を得ている。住民の意見を取り入れ、サイレンを鳴らしている。食糧、水も備蓄され、訓練時には実際に食している。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員は朝の出勤時に一人ひとりに心を込めて挨拶をし、プライバシーに関わることは、必ず本人に確認をとって行い、プライバシーを損ねることがないように、職員同士で注意しあっている。	接遇研修を受け、ミーティング時に伝達し職員間で共有している。入居者のプライバシーに配慮するとともに、それぞれのペースに合わせた生活が送れるよう配慮している。重要書類は事務室に保管している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	自己決定する場合は、出来るだけわかりやすく話しかけ、会話の中で本人の思いや希望を引き出すよう心掛けている。漠然と希望を引き出すのではなく、2択3択あげることにより自己決定しやすくなるよう配慮している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日々のレクリエーションに全員が顔を合わせて体を動かしたり、話をする機会を設けている。しかし基本的に本人の体調やその日の気分によって一日をすごしてもらっている。無理強いはいしない。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	自分の意志で選ぶことのできる方は、起床時、入浴時に本人が着たい服を選んでもらっている。また季節や行事に合った身だしなみの支援や時々鏡で髪型、顔を見てもらい意識する時間を設けている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事作りは、入居者の意見や好みを聴いてから作るように心がけている。	厨房と食堂は入居者が食事作りに参加しやすいフラットな構造になっている。正月のおせち料理は手作り、落語会は弁当、誕生会はケーキ、七草がゆと敬老会は家族と一緒に食事するなど、楽しむ工夫をしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養のバランス、一人ひとりの摂取量に気を付けて食事作りに気配りする。水分の摂取量にも気を付ける。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	病気の原因になることもあるので、義歯の洗浄には特に気を付けている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	定期的にトイレの言葉かけを行ったり、自分で出来るところは自分でしてもらい、見守っている。	排泄時間帯を把握し、適宜、トイレ誘導を行うことで、排泄の自立支援に努めている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	歩行を促したり、水分を多めに摂ってもらうように心がけている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	その日のタイミング、バイタル後体調などみながら言葉かけし、一対一で気持ちよく、ゆったりと風呂に入ってもらえるように心がけている。	入居者は週2回入浴しているが、毎日状況に応じて入浴できるようにしている。浴室にはリフトがあり、入居者と職員の負担を軽くする工夫をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夕方以降は心が穏やかに落ち着かれるように支援し、室温調節、明かり、清潔を保ち安心して眠れるよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人ひとりの薬を把握し、再確認するように努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりの好きな夢、自由にできることなど、楽しみながら生活していただけるよう支援している。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	外出、ドライブなど無理せず安心して、気分転換や車への乗り降りもリハビリと考え、出来るだけ外出されるように支援している。	入居者や家族の希望を聞き、毎月県内外の様々な場所へドライブしている。暖かいときは、体調を見ながら散歩をするなど、戸外へ出かける楽しみづくりをしている。	



自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	希望があれば生活に不安を与えないよう、所持金の配慮を行っている。ピクニックで外出時は買い物などできる支援を行っている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	精神面の安定が図れるよう接すると共に必要時は自由に電話ができるように支援を行っている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の花や、入居者が生活の中で書かれた作品の展示などを行い、足を止めてゆっくり見れるような雰囲気づくりの飾りつけを行っている。	季節の飾り付けがあり、行事にちなんだ入居者の書などを展示している。畳のスペースや廊下の腰掛スペースなど入居者のそれぞれが好きな場所で過ごせるよう配慮している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	廊下には固定式の長椅子が設置され、利用者同士の会話の場所となり、ソファを移動したりしてその時の気分を大切に、一人でも過ごせる工夫をしている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	思い出の家具や所持しておきたいと希望される物も、相談に応じたりして不安のない生活が送れるように工夫をしている。	居室には写真や絵を飾り、タンスなど馴染みの品を持ち込んでいる。入居者・家族と相談し、その方に応じた物の配置をしている。車椅子の入居者の入り口には車椅子のマークを表示し、非常時の避難がスムーズにできるような工夫をしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している			